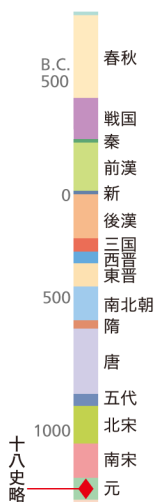


鶏口牛後



戦国時代、中国は秦・楚・燕・斉・韓・魏・趙の七つの強国が覇を競い合っていた。「戦国の七雄」と称されるそれらの中で、西方の秦が最も強大となった。他の六国は、秦への対応を誤れば、すぐにも国が滅亡しかねない状況にあった。

秦人恐喝諸侯、求割地。有洛陽人蘇

- 1 洛陽 現在の河南省洛陽市。
- 2 蘇秦 ？～前三一七年。戦国時代の遊説家。

乃往説燕文侯、与趙從親。燕資之、以

- 3 秦恵王 秦の君主。在位は前三三七年～前三一年。
- 4 燕文侯 燕の君主。在位は前三六一年～前三三三年。
- 5 從親 南北の国が同盟を結ぶこと。「從」は「縦」の意。

- 6 肅侯 趙の君主。在位は前三四九年～前二二六年。

力西向。秦必破矣。為大王計、莫若六国從親、以擯秦。

肅侯乃資之、以約諸侯。蘇秦以鄙諺説諸侯曰、「寧為鶏口、無為牛後。」於是六国從合。

(十八史略) 5

- 7 鄙諺 世間で言われていることわざ。8 於是 そので。

* 莫若 [A] [A] に及ぶものはない。[比較]
* 寧 [A]、無 [B] [A] いつそ [A] するとしても、[B] するな。
〔選択〕